

技術と人を磨き、素材開発から生産に至るまで 一貫した体制が整っています



三田工場

兵庫県三田市に約43,000㎡の敷地を持ち、主にメカニカルシールとグランドパッキンの生産を担うほか、研究・開発の機能も有する当社のマザー工場です。約50年ぶりのリニューアル工事により安全と環境に配慮した最新鋭の工場に生まれ変わりました。自動化・IT化などによる競争力の強化を図るとともに、培ってきた技術をさらに発展させ、市場が求める新しい製品の開発にも取り組んでいます。



当社グループの製品は、半導体や電力、石油、医薬品など幅広い産業分野の重要機能部品として使用されます。用途により仕様が異なるため、それぞれに最適な設計や生産が求められます。そこで当社は、必要なものは素材から内部製作し、全工程を社内一貫生産してよりクオリティの高い製品づくりを実現します。



福知山事業所

京都府福知山市に約39,000㎡の敷地を持ち、主に半導体・液晶製造装置向けの継手（フィッティング）やポンプなどのピラフロン製品のほか、ファインセラミックスの炭化珪素（SiC）製品なども生産しています。また、進化の著しい半導体技術に対応するため、福知山事業所にも研究・開発部門が設置されており、第二のマザー工場としての役割を担っています。



九州工場

熊本県合志市に約18,000㎡の敷地を持ち、主に半導体製造装置用の製品の設計、生産、組立を行っています。当工場は、半導体産業が集約された熊本県のセミコンテクノパーク内に所在し、お客様の注文に即応するため、スピーディーな生産体制で高品質な製品を提供しています。



1 技術研修センター

技術研修センターでは、新入社員や中途採用者をはじめとする当社従業員に向けた製品知識を習得する研修を実施しています。また、当社製品をお取り扱いいただく販売取引先、協力会社、代理店の方々をお招きし、実際に使用される機器を用いた施工技術習得の場としても活用されています。



2 分析センター

社内分析機関として製品の品質を支えるとともに、技術者が分析技術を学ぶことができる教育施設としても運用しています。これにより、設計者自ら適切な分析を行うことができるほか、分析機器を集約することでさまざまな分析依頼に迅速に対応できるなど、お客様ニーズに合致したサービスを提供することができます。また、膨大な分析データを蓄積することで、長期的な課題解決や製品開発に活用しています。



3 ショールーム

約50年ぶりのリニューアルに伴い、工場見学に来られるお客様への営業活動強化のため、ショールームも一新しました。グランドパッキンから始まり、新たな素材にいち早く着目し時代のニーズに即した製品を提供することで、さまざまな分野へ当社の事業が広がっていった様子を表現した印象的なショールームです。また、展示品の多くは実際に触って動かしていただくことができ、専門家の方だけでなく一般の方にとっても、当社製品の機能や効果が視覚的・体験的に理解しやすい工夫をしています。



Column 技術開発センターの建設に着手

当社は新たに総額30億円を投じ、兵庫県三田市に技術開発センターを建設します。

2022年春竣工予定の技術開発センターには、三田工場内の約100人の技術者を集結させ、組織を横断した複合・融合・総合技術により卓越した製品開発力を強化します。将来のマーケットを見据え、産官学の連携強化による先端技術への取り組みを進め、新たなイノベーションの創出を図ります。

